



100年表

前史

- 明治 2年 開拓使設置。十勝国7郡制定
- 16年 晩成社入植
- 19年 北海道庁設置
- 29年 十勝の殖民地解放。旧河川法制定
- 31年 **大洪水**
- 32年 治水計画立案のための調査開始
- 34年 北海道10年計画（日露戦争で空中分解）
- 38年 十勝川に開成橋（現十勝大橋の位置）
- 43年 北海道第一期拓殖計画（～昭和元年）
- 大正 8年 **大洪水**
- 7年 治水計画の大綱
- 9年 十勝川治水同盟会成立
- 11年 **未曾有の大洪水**

- 明治 8年 十勝組合組織（～明治18年）
- 26年 大津街道開通（大津～芽室）
- 27年 日清戦争（～明治28年）
- 28年 十勝分監設置（8年後十勝監獄）
- 30年 河西支庁開庁（昭和7年十勝支庁に改称）
- 37年 日露戦争（～明治38年）
- 38年 釧路～帯広間に鉄道開通（釧路線）
- 40年 帯広～旭川間に鉄道開通（十勝線）
- 43年 帯広市内と池田で電話回線開通
- 大正 元年 池田～網走間に鉄道開通
- 5年 帯広信用組合と北海道拓殖銀行帯広に開設
- 8年 十勝毎日新聞創刊
- 9年 十勝農業学校開校（帯広農業高校）
- 10年 帯広町役場が西3条8丁目に新築移転

大正 昭和

- 12年 **十勝川治水事務所創設(1923)**
十勝川治水事業に着手
- 2年 北海道第二期拓殖計画（～昭和21年）
- 3年 帯広治水事務所開設
（十勝川、釧路川、常呂川の各治水事務所を併合）
- 11年 **大洪水**
- 15年 ゲルバー式鉄筋コンクリート橋として、
新たな河西橋＝旧十勝大橋架橋
- 16年 岩松発電所が完成し十勝川の発電利用開始
- 23年 特殊河川改修事業制度（農用地拡大に伴う改修）
- 25年 北海道開発法制定
- 26年 北海道開発局設置（第一期北海道総合開発計画）
- 27年 **十勝沖地震**
- 30年 糠平ダム完成（発電ダム。音更川）
芽室治水事業所設置
- 31年 大正治水事業所設置
- 35年 **チリ地震（津波被害）**
- 37年 **大洪水**
- 39年 新河川法制定
- 41年 十勝川、一級河川指定
十勝川水系工事実施基本計画策定
中士幌治水事業所設置
- 47年 **大洪水**
- 48年 帯広河川事務所設置
（芽室、大正、中士幌の治水事業所が統合）
- 50年 **大洪水**
- 55年 十勝川水系工事実施基本計画改定
- 56年 **大洪水**
- 58年 十勝川水系工事実施基本計画改定
（浦幌十勝川を編入）
- 59年 茂岩と池田の治水事業所、河川事業所に名称変更

- 昭和 5年 藤丸デパート開店
- 7年 帯広～広尾間に鉄道開通（広尾線）
- 8年 帯広、北海道で7番目の市となる
- 14年 太平洋戦争（～昭和20年）
- 16年 帯広高等獣医学学校設立（畜産大学の前身）
初代十勝大橋完成（十勝川）
- 21年 パラック店舗「新興マーケット」開業
- 24年 建設業法施行。十勝建設業協会設立
- 28年 帯広市に上水道通水
- 32年 帯広市人口約10万人
（川西・大正両村と合併）
- 37年 大正町の化粧柳が北海道天然記念物に指定
- 39年 帯広空港開港（南町）
- 50年 イトーヨーカ堂開店（西3・4条南9丁目）
- 56年 新帯広空港開港（騒音で南町から移転）
- 58年 豊頃大橋完成（十勝川）
- 63年 十勝中央大橋完成（十勝川）

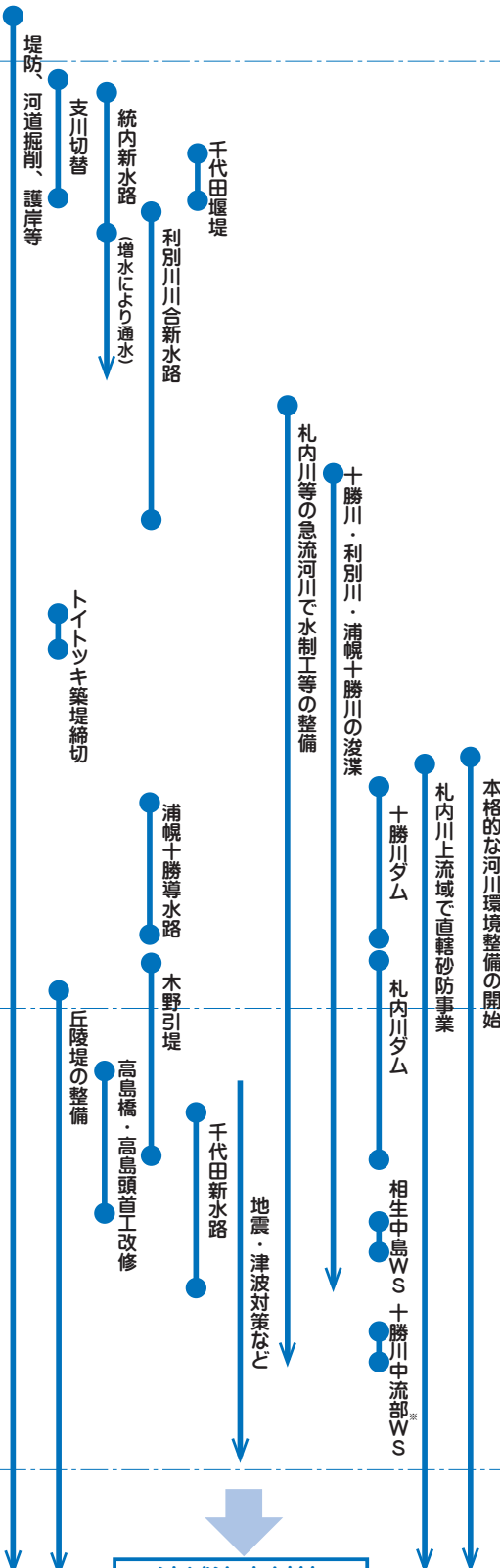
平成

- 元年 **大洪水**
- 6年 北海道東方沖地震
- 7年 十勝大橋（二代目）完成
- 9年 河川法改正
- 10年 **大洪水**
- 13年 **大洪水**
- 14年 池田河川事務所設置
（茂岩と池田の河川事業所が統合）
- 15年 **大洪水、十勝沖地震**
- 19年 十勝川水系河川整備基本方針策定
- 22年 十勝川水系河川整備計画策定
- 23年 **東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）**
- 25年 十勝川水系河川整備計画変更
（札内川礫河原再生）
- 28年 **大洪水（札内川・音更川で堤防決壊）**

- 平成 3年 国道274号札幌～帯広間全線開通
- 4年 十勝河口橋完成（十勝川）
- 8年 JR高梁開通、新帯広駅オープン
- 18年 ふるさと銀河線廃止
- 20年 北海道立十勝エコロジーパーク全面開園

令和

- 4年 十勝川水系河川整備基本方針（変更）
- 5年 十勝川河川整備計画（変更）
十勝川での本格的な治水事業開始から100年(2023)



流域治水対策

※ WS：川づくりワークショップ